

土屋新聞

発行所
株式会社 土屋
0120-547-278

家のことは何でも
ツチャ



株式会社土屋

悪質商法 「自分は大丈夫」にご用心

手回知り、きつぱり断る

「近く上場するので必ず株価が上がる」「瓦がずれてるので無料で点検」。巧みな誘いの文句で契約を迫る悪質商法の被害が後を絶たない。「自分は大丈夫」と思いがちだが、専門家は「誰もがだまされる恐れがある」と指摘する。被害にあわないためには、手口を知り、きつぱりと断ることが重要だ。

2004～05年にかけて急増したリフォームに関する相談も「再び増加傾向にあるので注意が必要」（国民生活センター）という。09年夏に中部地方の消費生活センターに寄せられた相談では「隣の家の工事をするので足場を借りたい」とウソを言って自宅の屋根に上がった後、「屋根が傷んでいる」と修理を迫っており、手口も巧妙になっている。

こうした悪質商法に特に注意が必要なのが高齢者だ。自宅にいたことが多いため、訪問販売や電話勧誘に直面しやすい。国民生活センターによると、全国の消費生活センターに寄せられた70歳以上が契約当事者の相談は12万2000件(09年度)。2年連続で増加した。国民生活センターは「悪質業者は高齢者の不安を言葉巧みにあおるのが特徴。年金、貯蓄などの財産を狙っている」と指摘する。

未公開株や点検商法などだけでなく、話題の商品やサービスでも悪質なセールストークを繰り返す業者がいるので注意が必要だ。国民生活センターによると、需要が拡大している太陽光発電などのソーラーシステムでは、「売電収入でシステムの分割代金の支払いはまかなえる」と言われ

購入したが、実際の売電収入は説明と大きな開きがある」などの相談が多い。

被害にあわないためにはどうすればいいか。まず商品、サービスが本当に必要なものかしっかりと検討。電話や訪問で勧誘されても、「必要ない」「あやしい」と思ったらすぐに「いりません」とはつきりと言うことが重要だ。

09年12月に改正特定商取法が施行され、電話勧誘販売に加えて訪問販売でも、契約しない意思を示した消費者への再勧誘が一定期間禁止された。ただ、「今は忙しいので結構です」というあいまいな言い方では断ったことにならない。「お断りします」「関心ありません」などときっぱりと告げなければならぬ。

トラブルにあわないためには

悪質商法の自衛策

- ・電話勧誘はその場で断る

「必要ない」「あやしい」とおもったら、「いりません」ときつぱりと断って電話を切る。早めに電話を終えることがポイント。
「話だけでも聞いてください」「儲かりますよ」には要注意。

- ・ 営業員は自宅に入れない

悪質業者は自宅に入ると長時間居座って勧誘する。ドアを開ける前に用件と身分を聞き、不要ならばドアを開けないことが重要

- ・**勇気を出してきっぱりと断る**

「忙しいのでまた今度」といったあいまいな返事は断ったことにはならない。

- ・手口を知っておく

最近の被害事例を知っておけば、悪質かどうか判断しやすい。地元の消費生活センターのホームページなどでチェックしたい。国民生活センターも「見守り新鮮情報」というメールマガジンで最新の相談事例を紹介

- ・不審な点があればすぐに消費生活センターに相談

1月から全国で使えるようになった消費者ホットライン

(☎0570-064-370)に電話すれば相談窓口につながるか、電話番号が案内される

※当社にも相談下さい072-685-5524 (株)土屋

働く主婦に優しい住まい

働きながら子育てしながら主婦業もこなす、大変ですよね。

私自身も働きながら小学生と保育園児の暴れん坊で甘えん坊の2人の男の子を育てる母です。毎日片付けてもすぐに散らかるリビングの掃除、真つ黒に汚して帰ってくる山のような洗濯物、毎日たくさん遊んで帰ってくる疲れた身体に栄養のあるご飯の用意、1日離れて過ごしていた分コ

ミニニケーションをとる時間
もたつぷりととりたい、やり
たいことはあげればきりが
ありません。

中でも私にとつて一番の
課題は、家事をいかにして
素早く終わらせ、子供たち
と過ごす時間を少しでも長
く確保できるか、毎日頭を
悩ませています。子供たち
とたつぷり遊んでしまつた
日は、ご飯は手抜き、洗濯
や掃除もおろそかになつて

リフォームアドバイザー

しまい、貴重な週末が溜まつた家事に追われてしまった。がリビングの横にあつたら。キッチン収納がもつと沢山あれば。こうなつたらたすかるのに、という願望はつきません。

働く主婦にとって優しい住まい、それは一人ひとり、のライフスタイルや価値観によつても違つてきます。

自分の理想の住まい、自分

の生活に合ったお家、それを実現するのに今何が障害になっているのか、一緒に考えてみませんか？

最適な収納、理想的な家事動線、それはお話をじっくりと書いてみないとわかりません。

同じ主婦という立場で、少しでも時間のゆとりができる住まいづくりのお力になれたいと思います。

平尾 仁美

健康コーナー

運動で血管の老化を予防

日本人の死亡原因は、がんによるものが最も多いが、次に挙げられるのが心臓病や脳血管疾患である。心臓病も脳血管疾患も動脈硬化によつて発症することが多く、「人は血管とともに老いる」といわれている。

運動によって適切な身体活動や運動は、多くの疫学研究や臨床研究によって明らかになっている。高血圧や糖尿病などをはじめとした数々の危険因子が運動によって取り除かれ、老化の元凶とされ動脈硬化を引き起こす一因ともなる活性酸素の消失能が高まることなどによる。

推奨される身体活動・運動と有酸素運動を主とし、1日30分以上を週3回以上(できれば毎日)、または週180分以上を目標とする。

筋肉量が低下している高齢者の場合は、筋肉に一定の負荷をかけて筋肉を鍛えるレジスタンストレーニングも有用であるとされる。

血管の老化は若いうちから生じている。動脈硬化が原因で生じることもある認知症予防のためにも、気がついた時から運動を始めてほしい。

(京都府立医科大学
大学院教授)

吉川敏一

日経新聞より

感謝祭一時中止のお知らせ

諸般の事情により毎年恒例の感謝祭を中止します。

それに変わる感謝の形を現在企画しております。

株式会社 土 屋

